

西暦 2026年01月06日作成

## 研究に関する情報公開について

下記の研究は、福岡大学人を対象とする研究倫理審査委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。  
インフォームド・コンセントを受けない場合において、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第4章 第8.1に基づき、以下の通り情報公開いたします。

研究課題名	抗菌薬アレルギー歴のある患者における 周術期使用抗菌薬と術後感染についての実態調査
研究期間	病院長の許可日 ～ 西暦 2026年03月31日
研究責任者	薬剤部 教授 神村 英利
試料・情報の収集期間	<input type="checkbox"/> ：新たな情報を取得する場合 病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日 <input checked="" type="checkbox"/> ：既存試料・情報を利用する場合 ■後向き期間：西暦 2024年04月01日 ～ 西暦 2025年03月31日 <input type="checkbox"/> 前向き期間：病院長の許可日 ～ 西暦 年 月 日
研究対象者	2024年4月1日～2025年3月31日の期間に入院し手術を施行し抗菌薬を予防的に使用した患者
研究の意義と目的	手術時には、創部（傷口）からの細菌の侵入によって感染が起こることがあります。それらを予防する目的で、多くの手術ではセファゾリン等の抗生剤の点滴が投与されます。一方で、仮に過去に抗生剤に対してアレルギーを起こした患者さんは、同様の薬剤を投与することによりアレルギーの急性症状を起こすリスクがあり、安全性の問題から異なる分類の抗生剤で代用することが推奨されています。しかし近年、その代用薬の多用により手術部位の創部感染を増加させることや抗生剤に対して耐性を持った細菌の発生が増加することが分かってきています。さらに、抗生剤アレルギーと登録されている患者において、精密検査を行うと、90%はアレルギーではないことが分かっています。そこで福岡大学病院において、抗生剤でアレルギーがあると登録された患者さんにおいて手術時に使用された抗菌薬の種類や手術後の感染症の発生状況について実態調査し、今後の抗菌薬適正使用の推進を図ることを目的とします。
研究の方法	入院患者の処方歴および電子カルテ情報を用いて、評価を行う
研究に用いる試料・情報	病歴、薬歴、患者基本情報、検査データ、手術所見
試料・情報の提供先	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
試料・情報の提供元	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
情報管理責任者又は名称	薬剤部 教授 神村 英利
研究のための試料・情報を利用する者	本学：人を対象とする研究倫理審査委員会承認され病院長から許可された研究者
個人情報の保護	収集した情報は、匿名化（どのデータが誰のものか分からなくすること）した上で本研究に利用します。国が定めた倫理指針に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究協力の任意性と撤回の自由	この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究に参加を希望されない方（患者さん自身がすでに亡く

	<p>なられている場合にはそのご家族）は下記の問い合わせ先へご連絡ください。患者さんの情報を本研究に利用しません。ただし、ご連絡を頂いた時点で、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、情報を削除できないことがあります。不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。この研究への情報の利用を断っても、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について	<p>患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。</p>
問い合わせ先	<p>所属：福岡大学病院薬剤部</p> <p>担当者名：甲斐田唯</p> <p>電話番号：092-801-1011</p> <p>対応可能日及び時間：平日8：30～17：30</p>